

人工透析とは何ですか？

腎臓の働きを人工的に助ける治療のことです。

腎臓の色々な機能については、今までにこの FROM-J 通信でもいくつか取り上げてきましたのでみなさんも良くご存知だと思います。CKD が進行してこの機能を十分に発揮できなくなると、血液中の老廃物を体外に排出できなくなったりすることで、尿毒症という病気を併発してしまうことがあり、放って置くと命に関わる場合もあります。このような病気の発症を防ぐために行なうのが人工透析といわれるもので、腎臓の働きをお手伝いする役割があります。



人工透析には大きく分けて 2 つの種類があります。まず一つ目は腹膜透析と言われるものです。これは、内臓を覆っている腹膜を使う方法で、手術によってお腹にチューブを設置しそこから透析液を注入して、体の中の老廃物を腹膜でろ過するといったものです。そして、二つ目の方法は血液透析と言います。これは、ダイアライザーと呼ばれる透析器に体内から取り出した血液を通して老廃物をろ過し、きれいになった血液をまた体内に戻すというものです。

いずれの方法も良い面悪い面色々持ち合わせていますが、今まで以上に病院に通う頻度が増え、日常生活を送る上で気を付けないといけないことが出てくるのは間違いないでしょう。腎臓は沈黙の臓器です。特に変化がないなと思っても、月に一度かかりつけ医に受診し、ご自分の腎臓の状態に耳を傾けるように心がけましょう。

月に 1 度の受診が、健康への第一歩です。

FROM-J に参加して

神奈川県 参加者 S. Y.様



こんにちは。この研究も早いもので 3 年が経ちました。

昔は、透析という事を余り考えた事も無かったのですが、頂いたオレンジのノートを見たり、透析がテレビニュースで話題になっていたりするのをみて、少し真剣に取り組むようになりました。

栄養士さんから教わったのは血圧です。「塩分を取りすぎている」と言われました。「妻の小言が無ければ、10 ぐらいくすぐ下がるんじゃないのか」とか思いながら、妻に相談しまして、最近暑いですし、味噌汁の回数を減らしました。

あと、薬を飲み忘れないように、専用のケースを買いました。日によって全然違うので、とにかく、血圧を測る時には深呼吸するようにしています。

震災の影響で塩の生産量も実は不足気味だとニュースで見ました。節電だけじゃなくて、みんなと一緒に節塩も頑張りましょう。

FROM-J 研究リーダー 筑波大学大学院人間総合科学研究科 山縣 邦弘

<お問い合わせ先>

FROM-J データセンター TEL:0120-15-2664(平日 9:00~17:30)

※参加ご辞退のお申し出と行き違いに本紙がお手元に届きました場合は、ご容赦ください。